

施設整備事業の事後評価結果 (平成23年度事後評価分)

1 今回の委員会での評価対象事業

(1) 機構の施設整備事業（いわゆるハード事業）については、施設整備の完了後3年又は5年を経過した年の翌年度に、費用対効果分析の結果をもって事後評価することとしている。

(2) 平成19年度に実施した施設整備3事業（18件）及び平成17年度に実施した施設整備2事業（36件）の計5事業（54件）について、費用対効果分析により事後評価の対象となった。

このうち、平成17年度に実施した2事業（2件）については、口蹄疫の影響により事業の対象として導入した家畜を殺処分し、事後評価を実施することが困難となったため評価の対象から除き、5事業（52件）について事後評価を実施した。今回の委員会において事業評価の結果を報告し、ご意見を伺う。

【具体的事業の内訳】

事業名	施設数(件)
食肉流通合理化総合対策事業	9
畜産環境緊急特別対策事業	8
乳業再編整備等対策事業	1
地域肉用牛振興対策事業	24
低コスト肉用牛生産特別対策事業	10
計	52

※ 環境・衛生関連事業等の費用対効果分析になじまない事業については、コスト分析手法により評価を行う。

2 評価結果

(1) 施設整備の完了後3年後に事後評価の対象となった3事業（18件）について、投資効果が「1」以下となったものは、乳業再編整備対策事業の1件であった。

理由は、生乳需給のひっ迫により処理乳量が計画を下回ったことである。

(2) 施設整備の完了後5年目に事後評価の対象となった2事業（34件）については、計画時に比べて配合飼料価格の上昇や子牛価格の低迷が著しいことから、その影響を補正した上で投資効率を算定した。その結果、投資効果が「1」以下となったものは12件であった。

理由は、経営収支の悪化や農家の生産技術不足から繁殖雌牛の増頭が進まなかったことなどである。

(3) 投資効果が「1」以下となったものについては、関係者の連携及び利用率の改善のため、文書による指導を行った。また、地域肉用牛振興対策事業については、ヒアリングを早期に行い、十分な事業実施期間を確保することとした。

【事後評価結果一覧】

事業名	件数 (施設数)	投資効率が1以下と なった施設の割合	計画時の投資効率に 比べ、実績値による投 資効率が▲20%以上 乖離している施設
平成19年度事業(3年目に事後評価を実施)			
食肉流通合理化総合対策事業	9	0% (0/9件)	44% (4/9件)
畜産環境緊急特別対策事業	8	0% (0/8件)	0% (0/8件)
乳業再編整備等対策事業	1	100% (1/1件)	100% (1/1件)
計18			
平成17年度事業(5年目に事後評価を実施)			
地域肉用牛振興対策事業(補正後)	24	38% (9/24件)	88% (21/24件)
低コスト肉用牛生産特別対策事業(補正後)	10	30% (3/10件)	70% (7/10件)
計34			
合計(補正後)	52	25% (13/52件)	

注1：投資効率は、{(年総効果額÷還元率)－廃用損失額}÷総事業費

注2：当委員会の議論を踏まえ、地域肉用牛振興対策事業及び低コスト肉用牛生産特別対策事業については、配合飼料価格の高騰及び子牛価格の低迷の影響を考慮して補正。

事後評価の実施状況

事業名	食肉等流通合理化総合対策事業										畜産振興部				実績値	20%以上の乖離の乖離状況	乖離の要因
	事業内容		事業計画時					実績値			投資効率	20%以上の乖離の乖離状況	乖離の要因				
	整備内容	総事業費	年総効果額	費用損失額	還元率	投資効率	総事業費	年総効果額	費用損失額	還元率							
1 十勝畜産農業協同組合(家畜市場)	セリシステム	29,430	8,810	0	0.2000	1.50	29,430	6,298	0	0.2000	1.07	-28.5%	○	取引頭数の減少			
2 秋田しんせい農業協同組合(家畜市場)	セリシステム 秤量施設	12,605	3,681	0	0.2246	1.30	9,650	5,068	0	0.2246	2.38	83.0%	○	労時間削減が計画時より削減			
3 山形おぎたま農業協同組合(家畜市場)	セリシステム	29,663	9,578	0	0.2246	1.44	29,610	6,858	0	0.2246	1.03	-28.3%	○	取引頭数の減少			
4 静岡県経済農業協同組合連合会(食肉センター)	カット施設等	696,885	125,471	3,143	0.1032	1.74	659,400	109,408	3,143	0.1013	1.63	-6.3%					
5 全農徳島県本部(家畜市場)	セリシステム	35,150	8,466	0	0.2100	1.15	27,500	7,985	0	0.2100	1.38	20.6%	○	入札による事業費の減少。			
6 鹿児島くみあいチキンフーズ㈱(食鶏)	汚水処理施設	78,750	11,372	26,416	0.0663	1.84	76,820	6,939	26,416	0.0645	1.06	-42.7%	○	取引頭数の減少			
7 都城農業協同組合(家畜市場)	セリシステム	37,182	10,947	0	0.1908	1.54	35,000	7,122	0	0.1933	1.05	-31.8%	○	労時間削減が計画時より増加			
8 樺ミヤチク	内臓等処理装置	97,927	17,133	19,255	0.1173	1.29	98,682	59,587	19,255	0.1185	4.90	278.4%	○	部分肉の消費拡大及びミンチ材の増加。			
9 沖縄県農協(家畜市場)	輸送施設	7,956	1,252	0	0.1200	1.31	7,900	1,078	0	0.1100	1.24	-5.4%					

事後評価の実施状況

事業名	畜産環境緊急特別対策事業(畜産環境整備リース事業)										畜産振興部			
	事業計画時					実績値					20%以上の乖離の乖離状況	乖離の要因		
	整備内容	総事業費	年総効果額	廃用損失額	還元率	投資効率	総事業費	年総効果額	廃用損失額	還元率			投資効率	
1 (財) 畜産環境整備機 構(青森県)	発酵処理施設等の整備	51,996	7,898	0	0.14	1.05	51,996	9,975	0	0.14	1.33	26.7%	計画に対して、堆きゆう肥製造量が増えたため。	
2 (財) 畜産環境整備機 構(千葉県)	発酵処理施設等の整備	56,509	85,730	0	0.14	10.63	56,509	79,621	0	0.14	9.87	-7.1%		
3 (財) 畜産環境整備機 構(千葉県)	浄化処理施設等の整備	135,000	110,130	0	0.16	5.07	135,000	111,896	0	0.16	5.15	1.6%		
4 (財) 畜産環境整備機 構(静岡県)	たい肥舎及び浄化処理 装置等の整備	55,468	45,385	0	0.13	6.31	55,468	39,669	0	0.13	5.51	-12.7%		
5 (財) 畜産環境整備機 構(熊本県)	発酵処理装置等の整備	64,995	136,025	0	0.22	9.36	64,995	136,603	0	0.22	9.40	0.4%		
6 (財) 畜産環境整備機 構(熊本県)	発酵処理施設等の整備	65,522	103,723	0	0.14	11.32	65,522	187,975	0	0.14	20.51	81.2%	計画に対して、堆きゆう肥製造量が増えたため。	
7 (財) 畜産環境整備機 構(鹿児島県)	浄化処理施設等の整備	51,555	80,723	0	0.17	9.35	51,555	80,723	0	0.17	9.35	0.0%		
8 (財) 畜産環境整備機 構(沖縄県)	浄化処理施設等の整備	87,388	89,433	0	0.12	8.61	87,388	89,433	0	0.12	8.61	0.0%		

改善事項	
事業内容	
運用方法	
審査方法・基準	
費用対効果分析手法	
指簿方法等	

事後評価の実施状況

事業名	地域肉用牛振興対策事業(新規参入円滑化対策事業)										畜産経営対策部				乖離の要因		
	整備内容		事業計画時(17年度)				実績値				担当部		乖離状況	20%以上の乖離			
	施設等	導入頭数	総事業費	年総効果額	費用損失額	還元率	投資効率	総事業費	年総効果額	費用損失額	還元率	投資効率				22年度	
1	(社)岩手県農業公社	畜舎等	10	33,326	11,157	0	0.1945	1.72	22,268	838	0	0.1802	0.21 (0.64)	0	-87.9%	○	・繁殖雌牛の生産・導入頭数が計画を下回る。 ・子牛の事故率の増加 ・飼料費の増加
		畜舎、堆肥舎等	23	39,247	11,050	0	0.1367	2.06	41,312	187	0	0.1194	0.04 (0.66)	0	-88.2%	○	
3	西邑栄農協	畜舎等	20	18,585	3,625	0	0.1588	1.23	20,200	1,654	0	0.1626	0.50 (1.08)	0	-59.0%	○	子牛販売価格の低迷
4	東美農農協	畜舎等	10	18,869	3,443	0	0.1125	1.62	20,617	2,955	0	0.1167	1.23 2.27	0	-24.3%	○	・子牛生産頭数が減少 ・繁殖素牛の高騰により素牛導入費が増加
		畜舎等	30	46,572	7,027	0	0.1145	1.32	48,260	4,883	0	0.1073	0.94 (1.90)	0	-28.5%	○	
6	石見銀山農協	畜舎等	7	22,496	2,466	0	0.0975	1.12	22,488	86	0	0.0974	0.04 (0.16)	0	-96.5%	○	・資金繰り等を勘案し繁殖雌牛の導入を抑制したことによる子牛生産率の低下 ・飼料費の増加
		畜舎、堆肥舎等	10	11,325	2,568	0	0.1473	1.54	11,822	1,170	0	0.1508	0.66 (1.08)	0	-57.3%	○	
8	東宇和農協	畜舎等	10	8,712	1,754	0	0.1677	1.20	9,065	53	0	0.1707	0.03 (0.04)	0	-97.1%	○	母親の看病のため畜舎の管理に十分な時間をとれず
		畜舎、堆肥舎等	9	27,708	3,561	0	0.1085	1.18	26,860	2,018	0	0.1074	0.70 (1.27)	0	-40.9%	○	
10	ながさき西海農協(福川)	畜舎、堆肥舎等	10	24,717	3,235	0	0.1073	1.22	23,303	349	0	0.1105	0.14 (0.15)	0	-88.9%	○	・子牛の事故率の増加 ・飼料費の増加
		畜舎、堆肥舎等	5	20,379	3,214	0	0.0968	1.63	19,468	2,604	0	0.1020	1.31 (2.80)	0	-19.5%	—	
12	ごとう農協	畜舎、堆肥舎等	8	14,443	1,991	0	0.1176	1.17	13,257	1,387	0	0.1208	0.87 (1.84)	0	-26.1%	○	・増頭に伴う導入経費の増加 ・飼料費の増加
		畜舎、堆肥舎等	7	14,319	1,968	0	0.1125	1.22	14,383	428	0	0.1236	0.24 (1.06)	0	-80.3%	○	
14	杏岐農協	畜舎、堆肥舎等	5	15,891	2,061	0	0.1088	1.19	15,989	626	0	0.1133	0.35 (0.76)	0	-71.0%	○	・子牛販売価格の低迷 ・飼料費の増加 ・繁殖雌牛の廃用、受胎の遅延
		畜舎等	30	23,427	6,505	0	0.1698	1.64	26,212	228	0	0.1756	0.05 (1.01)	0	-97.0%	○	

事業実施主体	整備内容		事業計画時(17年度)			実績値(22年度 注※)			乖離状況	20%以上の乖離	乖離の要因			
	導入頭数	総事業費	年総効果額	費用損失額	還元率	投資効率	年総効果額	費用損失額				還元率	投資効率	
16	茨北町農協	畜舎等	25	16,666	6,902	0	0.2246	1.84	0	0.2247	0.07 (0.07)	○	-96.5% -96.5%	・繁殖雌牛の生産・導入頭数が計画を下回る。 ・子牛出荷頭数の低下 ・飼料費の増加
17	日向農協	畜舎、堆肥舎等	10	28,757	4,804	0	0.1070	1.56	0	0.1109	1.61 (3.21)	—	3.1% 105.4%	—
18		畜舎、堆肥舎等	6	21,076	3,352	0	0.1032	1.54	0	0.1086	1.54 (3.31)	—	0.1% 114.6%	—
19	はまゆう農協	畜舎、堆肥舎等	40	45,064	9,539	0	0.1407	1.50	0	0.1476	0.03 (0.15)	○	-98.1% -90.4%	・飼料費の増加 ・子牛販売価格の低迷 ・子牛の事故率の増加
20		畜舎、堆肥舎等	40	44,424	9,575	0	0.1415	1.52	0	0.1471	0.47 (1.39)	○	-69.1% -8.6%	・子牛販売価格の低迷 ・飼料費の増加
21	かごしま中央農協	畜舎、堆肥舎等	100	100,941	17,247	0	0.1487	1.15	0	0.1516	0.09 (0.57)	○	-91.9% -50.0%	・子牛販売価格の低迷 ・飼料費の増加
22	あいら農協	畜舎、堆肥舎等	25	45,951	7,724	0	0.1134	1.48	0	0.1197	1.17 (2.25)	○	-21.3% 51.6%	・繁殖素牛の導入による家畜購入費の増加 ・飼料費の増加
23	そお鹿見島農協	畜舎、堆肥舎等	40	50,943	7,687	0	0.1279	1.18	0	0.1408	0.36 (1.13)	○	-69.5% -3.9%	飼料費の増加
24	種子屋久農協	畜舎、堆肥舎等	25	15,577	3,827	0	0.1780	1.38	0	0.1853	0.98 (1.83)	○	-28.9% 32.3%	・経営収支の把握不足 ・飼養管理不足

改善事項	改善点の具体的な内容
事業内容	—
運用方法	ヒアリングの早期化による十分な事業実施期間の確保
審査方法・基準	—
費用対効果分析手法	—
指導方法等	関係者間の連携及び新規参入者への計画的指導の実施について、文書により指導

注 1 投資効率が1.0を下回ったものについては、補正を行い下段に()とした。

注 2 補正値については、肉牛価格等の数値に係る17年度から22年度への変動率を農林水産省等の統計を参考に算出し、22年度の数値に乗ずることにより、算出した。

注 3 地域肉用牛振興対策事業(新規参入円滑化対策事業)については、新規参入者の促進を図るため、牛舎等の施設整備及び繁殖雌牛を導入する事業内容であり、5年間を実施期間とし、5年後に投資効率が1.0を上回る計画となっている。

注 4 投資効率の実績値のうち、網掛けの数値は、補正後の評価結果が計画を下回っている者

注 5 20%以上の乖離及び乖離の要因については補正前の数値による。

事後評価の実施状況

(千円)

事業名	低コスト肉用牛生産特別対策事業(低コスト肉用牛生産実証展示事業)				畜産経営対策部				20%以上の乖離	乖離の要因			
	整備内容	事業計画時(17年度)		実績値(22年度 注※)		投資効率	20%以上の乖離状況	投資効率					
		総事業費	年総効果額 経費用損失額	還元率	投資効率						還元率	投資効率	
1	全農福島県本部	畜舎等	70,605	7,420	0	0.0959	1.10	0	0.0968	0.00	-100.0%	○	*導入の偏りによる出荷頭数の減少 *飼料費の増加 *疫病発生により衛生費の増加
										(0.01)			
2	たじま農協	畜舎等	13,893	3,020	0	0.1264	1.72	0	0.1233	1.96	13.7%	—	—
										(5.02)			
3	勝英農協	畜舎等	38,612	6,312	0	0.0892	1.83	0	0.0908	0.29	-84.1%	○	*飼料費の増加 *家畜購入費の発生及び減価償却費の増加
										(2.45)			
4	勝英農協	畜舎等	26,670	3,595	0	0.0881	1.53	0	0.0881	7.85	413.6%	—	—
										(11.99)			
5	阿新農協	畜舎等	29,666	4,140	0	0.1068	1.31	0	0.0984	0.55	-57.7%	○	*飼料費の増加 *枝肉販売価格が計画を下回った。
										(3.43)			
6	防府とくろ農協	畜舎等	12,340	1,645	0	0.0906	1.47	0	0.0937	4.82	227.4%	—	—
										(14.43)			
7	ながさき西海農協	畜舎、堆肥舎等	28,698	3,538	0	0.0910	1.36	0	0.0910	0.02	-98.3%	○	*子牛の販売価格の低迷 *子牛出荷頭数の低下
										(0.03)			
8	ながさき西海農協	畜舎等	28,355	4,636	0	0.1016	1.61	0	0.1016	0.00	-100.0%	○	*子牛の販売価格の低迷 *子牛出荷頭数の低下
										(0.00)			
9	ながさき西海農協	畜舎、堆肥舎等	20,188	3,201	1,741	0.1158	1.28	1741	0.1158	0.29	-77.4%	○	*子牛出荷頭数の低下 *生産原価の高止まり
										(1.26)			
10	ながさき西海農協	畜舎、堆肥舎等	8,706	1,213	2,191	0.0800	1.49	2191	0.0800	0.19	-87.4%	○	*子牛出荷頭数の低下 *購入飼料費の増加
										(2.00)			

改善事項	改善点の具体的な内容
事業内容	平成18年度をもって当該事業は終了
運用方法	—
審査方法・基準	—
費用対効果分析手法	—
指導方法等	改善策を提出させる中で今後取り組むべき内容等について指導を実施

- 注 1 投資効率が1.0を下回ったものについては、補正を行い下段に()とした。
注 2 補正値については、肉牛価格等の数値に係る17年度から22年度への変動率を農林水産省等の統計を参考に算出し、22年度の数値に乗ずることにより、算出した。
注 3 低コスト肉用牛生産特別対策事業(低コスト肉用牛生産実証展示事業)については、低コスト肉用牛生産の推進を図るため、家畜飼養管理用等の施設整備及び牧草地の整備等を実施する事業内容であり、5年間を実施期間とし、5年後に投資効率が1を上回る計画となっている。
注 4 投資効率の実績値のうち、網掛けの数値は、補正後の評価結果が計画を下回っている者
注 5 20%以上の乖離及び乖離の要因については補正前の数値による。

(参考) 新規参入円滑化等対策事業における採択時の審査及び採択後のフォローアップについて

時期	内容	23年度の実施状況	備考
採択時	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングで次の項目を確認(都道府県、農協等) →事業の内容(施設の整備、繁殖雌牛の導入) →新規参入者の要件(技術水準、研修内容) →費用対効果分析(5年後の経営収支計画額を基に算定) →<u>農協等による指導・支援体制</u> 	<p>長崎県ほか2県(6新規参入者)についてヒアリングを実施し、内容を精査した上で、事業を採択</p>	<p>17年度から全件対象</p> <p><u>22年度から確認項目に追加</u></p>
1年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 	21年度採択分の利用状況等を 確認	
2年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 	20年度採択分の利用状況等を 確認	
3年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 ・<u>利用状況等が計画を下回るものについて現地調査、指導を実施</u> 	<p>利用状況等を踏まえ、14件の現地調査、指導を実施及びその他については文書により指導</p>	<p>20年度から22年度まで補助事業として、<u>23年度から機構が直接実施</u></p>
4年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 	18年度採択分の利用状況等の 確認	
5年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 ・事後評価の実施 →<u>効用が費用を下回った場合は改善策の提出</u> 	<p>17年度採択事業について、事後評価を実施</p> <p>現地での指導あるいは文書指導</p>	<p>投資効率が1.0以下：9件</p>

※新規参入円滑化等対策事業は、18年度までは地域肉用牛振興対策事業として実施。なお、19年度から21年度までは肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業、22年度は多様な肉用牛経営実現支援事業、23年度以降は肉用牛経営安定対策補完事業として実施されている。